



公明党 NEW KOMIITO

松原市議会ニュース 第20号

あなたに寄り添い、今日も動く！

よりたまみご通信 第3号

松原市議会公明党議員団

三重松清子 / 中尾良作
河内 徹 / 依田眞美子

〒580-8501 松原市阿保1-1-1
電話 072-334-1550 (内線 2360)

依田 眞美子
松原市田井城 2-2-2-402
TEL&FAX: 072-334-2281



2019年度 Matsubara City Budget

新規事業 予算化の実績

安全で安心した松原市構築のため取組んで参ります。

松原版ネウボラのスタート！

妊娠期から子育て期までのよりきめ細やかな子育て支援を行います。母子の健全な育成と児童虐待予防を図る支援です。子育て世代包括支援センターの開設・産後ケア事業の実施も始まります。



認定子ども園の建設！

市東南部の市立幼稚園3園を統合し、鉄筋2階建て約200人規模の園を2020年度中に建設します。



新生児聴覚検査の助成！

生まれたばかりの赤ちゃんに聴覚障がいがないかを調べ、早期発見・早期療育に繋がります。(一部助成)



内視鏡検査(胃がん検診)の実施！

精度の高い内視鏡検査を満50歳以上の人を対象に2年に1回の受診ができるようになります。



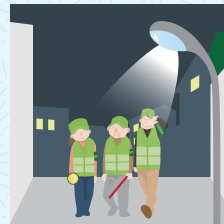
青色防犯パトロールの拡充！

青色回転灯を装備した自動車による自主防犯パトロール。街頭犯罪の抑止効果も期待できます。



防犯灯電気代全額助成！

町会防犯灯の電気料金が半額から全額助成となります。



Net119 緊急通報システム！

緊急通報をすることが困難な聴覚・言語機能障害の方がスマホ等を利用し素早く119番に通報を行えるシステムを開始します。



新図書館建設！

子どもから高齢者まで幅広い世代がゆったり過ごせる憩いの新図書館になります。(2020年3月の完成予定)



空家利活用支援制度！

老朽危険空き家の所有者に対し、除去工事費用の一部を補助。空き家利用の推進を図ります。



風しんワクチン接種！

抗体保有率が低い39～56歳の男性を対象に、抗体検査とワクチン接種を3年間無料で実施します。



小中学校エアコン5月末工事完了予定！

松原市立小中学校の普通教室のエアコンの設置が5月末で完了予定です。児童生徒の学習環境改善のため、空調設備の運用を開始します。



学童支援・学校クラブ活動支援！

- 「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指し、学童期に至るまでを切れ目なく支援します。
- 学校クラブ活動活性化事業 専門の指導者による指導を実施します。



市政に関することなどなんでもお気軽にご相談ください。



みえまつ きよこ 三重松 清子



なかお りょうさく 中尾 良作



かわち とおる 河内 徹



よりた まみこ 依田 眞美子

こあいさつ

新しい元号の制定に心弾ませ、大きな歴史の転換期に身をおける事に喜びでいっぱいです。
 今回は、松原市議会ニュースと合併し、よりたまみ通信3号を作成しました！初めての決算特別委員会では毎日、『予算の概算』と格闘、担当者と何度もヒヤリングを重ね9項目の質疑ができ、福祉文教委員会でも初質問でき、少しずつですが、理解できる事が増えてきました！
 新年度が始まり、更に現場第一で議員力を高められる“令和元年”となる様頑張ってお参ります！皆さまよろしくお願ひ致します。

よりたまみの 活・動・報・告

カーブミラーの設置
 天美南1丁目付近

道路補修
 天美東1丁目

● 予算特別委員会での質議 (9項目中2項目 抜粋)

問 高齢者訪問理容運営助成事業について

答 H30年5月より65歳以上の高齢者で、一人で外出困難な要介護認定のある方を対象に社会福祉法人松原市福祉協議会が訪問理容サービスの助成を最大4回まで実施。

問 これまでの実績と状況は

答 H31年2月末で、利用実数50件 社会福祉協議会に申請し、決定されると高齢者訪問理容券が届き、理容組合には、利用者が登録された連絡がはいる。理容組合が登録店と調整し訪問。利用者は、理容券で支払い、金額の負担はない。

問 NET119のシステムについて

答 会話に不自由な聴覚及び言語機能の障害者の方を対象に、携帯電話などの画面操作のみで119番要請が可能。

問 携帯電話等からの操作要領は

答 専用サイトにアクセス後、画面上の『救急』か『火事』を選択し、画面の案内に沿ってタッチ操作すると119番に繋がる。名前や自宅の住所などを事前登録しておくことで、簡単な操作で通報ができる。外出先でも、携帯電話のGPSの位置情報により発生場所を伝えられる。

問 運用開始時期は

答 議決後、対象者への周知を開始し、登録手続きなどの準備期間を経て、今年度6月の運用開始を予定。



● 福祉文教委員会

1、子育て支援について

- ①孫育て手帳(あってよかった孫育てのエトセトラ)
- ②松原版ネウボラ
- ③液体ミルク

①作成の経緯と内容について、また入手方法(H31年1月よりホームページでアップされ、個人でダウンロードする)などを聞いた。
 ②ネウボラの窓口(地域保健課)と具体的な内容、個人の支援プランのメリット、妊娠後期の電話、産後ケア事業についての内容、産後うつを防ぐための今後の取り組みなどを聞いた。
 ③災害時に備えての、乳幼児用の備蓄物資(粉ミルク・哺乳瓶・紙おむつ)を聞き、本年1月末日、国内で大手2社が液体ミルクの承認を厚生労働省大臣から取得し、3月5日に小売り価格も発表したことから、本市においても導入の検討を依頼した。

2、学校図書館の充実について

学校図書館の充についての認識、これまでの施策(図書バーコードシステム)学校図書支援ボランティア、学校司書(現1名)の具体的な活動内容や司書が配置される前・後と大きく変わった点、児童や教職員の感想などを聞いた。現図書館で業務されている司書の方が、子どもの心を育てるために学校に向かい頂きたいと希望した。



⑤いじめ対策について

問 子どもを取り巻く環境は大きく変化していると思われます。相談機会、方法についても環境の変化に対応する必要があります。今後のありかたについてお考えをお聞かせください。

答 心の安心・安全の具体的な取組として、いじめを早期に発見するために、学期に1回以上の「アンケート調査」をはじめ、市や学校での教育相談等を実施しております。また、児童生徒の人権意識を育てるための集団づくりを、日々の教育活動において進めております。今後も、子どもの気になる言動やささいな行動の変化を見逃さず、いじめの未然防止に努めてまいります。

⑥クラブ指導員の取組について

問 外部指導員を活用した中学校の部活動を実施していただきましたが、来年度、配置予定の部活指導員をどのように活用するのか、お考えをお聞かせください。

答 これまでも専門的な資質のある外部指導者を活用していましたが、来年度配置予定の部活動指導員は、教員の同行なしで単独で指導することや対外試合の引率も可能となっています。今後は、専門性のある部活動指導員及び外部指導者の指導により、効率的で効果的な部活動の実現を目指してまいります。

- 小中学校の法定点検
 - 新図書館運営について
 - 土地の利用活用について
 - 大塚運動広場及び周辺施設の整備について
 - 移住定住促進について
 - 高齢者施策について
 - 火災時の避難所について
 - 窓口コンシェルジュについて
- などの質問をおこないました。

代表質問

(一部抜粋)

平成31年 第1回定例会

河内 徹

平成31年3月5日



学校教育について

①学力向上についての今後の方針について

問 子どもたちは人間力の育成が重要で、心の教育は成果が出始めています。学力向上の取組みと今後の方向性をお聞かせください。

答 本市の児童生徒は、基礎的・基本的な知識や技能については身につけているものの、知識や技能を活用する力に課題があります。そのため、授業改善に取り組んできたところ、学力調査の結果は小中学校とも上昇傾向が見られましたが、市で設定した目標値には届きませんでした。今後は、新学習指導要領で求められる「主体的、対話的で深い学び」の実現のために、専門家等を効果的に活用しながら、学力向上を図ってまいります。

②先生の指導力向上について

問 教員の指導力向上が重要であると考えます。今後の方向性についてお聞かせください。

答 効果的な支援制度を構築の必要。教員の年次研修や教育アドバイザーの派遣、各学校での好事例の交流等、特色ある取組を実施。その結果、子どもが考え、伝え合う授業改善が定着しつつあり、小中学校ともに、「書く力」「読む力」が身につけてきております。今後は、全ての教員が、研鑽を積み、互いに指導力を磨く体制を築き上げるよう、指導助言してまいります。

③ ICT 授業の考え方について

問 海外との交流授業や専門分野の授業等さまざまなことが体験できる授業として、本格的なICT授業を是非進めていただきたいと思いますが、お考えをお聞かせください。

答 各学校で日常からタブレットパソコンや電子黒板等を活用した「わかる授業」の展開、子ども同士の意見交流による学習意欲の向上を図っているところです。ICT機器の活用により、様々な授業を行うことが可能であり、遠く離れた人々との交流や、海外の学校とつながることで、児童生徒が外国の文化に触れたり、グローバルな視野を持ったりするなど、子どもたちの学びを広げることができると考えております。今後、活用法について研究を進めたいと思います。

④小中一貫教育や義務教育学校の考え方について

問 学校の小規模化は、全国的な課題となっており、対応として、小中一貫教育や義務教育学校について、お考えをお聞かせください。

答 文部科学省が提唱するコミュニティ・スクールや小中一貫教育の制度を踏まえた、これからの学校教育の在り方と適正規模について検討委員会を立ち上げ議論していただいております。子どもたちにとってよりよい学校教育のあり方について、検討してまいります。

